DVD±R/RW/RAM

I·O DATA

セットアップガイド

DVR-UM16CR

この度は「DVR-UM16CR」（以下、本製品と呼びます。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に「本書」をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

B-MANU2003378-01

動作環境の確認

対応機種※1	USB 2.0※2(USB 1.1※3)ポートを搭載したDOS/Vパソコン(弊社製USBインターフェイスを搭載したパソコンを含む)
対応OS※4	Windows XP※5、2000 Professional、Me※6
搭載CPU※4	●データ保存時：Pentium® III 450MHz以上 ●ビデオ編集・DVD鑑賞時：Pentium® III 800MHz以上（リアルタイムレコーディング＆作り直し時は1.8GHz以上） ●M-style使用時：Pentium® III 800MHz以上 (Pentium® 4 2.4GHz以上推奨)
メモリ	256Mバイト以上（512Mバイト以上推奨）
ハードディスク※4	空き容量 10Gバイト以上（20Gバイト以上推奨）
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上の解像度
インターネット	CPRM技術で録画されたDVDメディアをUlead DVD Playerを使って再生、またはDVD MovieWriterで編集する場合には、インターネット接続環境が必要です。
対応メディア※7	●DVD：DVD+R※8、※9、DVD+RW、DVD-R※9、※10、DVD-RW、DVD-RAM※11、DVD-ROM ●C D：CD-R、CD-RW、CD-ROM

推奨メディア※12

メディア	メディアの速度	メーカー名
1層DVD+R	16倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
	8倍速	太陽誘電、TDK、三菱化学、リコー
2層DVD+R	2.4倍速	日立マクセル、三菱化学
	2.4倍速（4倍速書き込み※14）	日立マクセル、三菱化学
DVD+RW	8倍速	日立マクセル、リコー
	4倍速	TDK、日立マクセル、三菱化学、リコー
1層DVD-R※13	16倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
	8倍速	ソニー、太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
2層DVD-R	4倍速	三菱化学
DVD-RW※13	6倍速	ビクター、日立マクセル
	4倍速	TDK、ビクター、三菱化学
DVD-RAM	5倍速	Panasonic、日立マクセル
	3倍速	Panasonic、日立マクセル
CD-R	太陽誘電、三菱化学	
CD-RW	三菱化学	

※1 より詳しい対応機種情報を当社製品検索エンジンPIOにてご案内しております。
http://www.iodata.jp/pio/

※2 ●USB 2.0搭載以外のパソコンをUSB 2.0インターフェイス機能が必要です。本製品のUSB 2.0での動作は、弊社製USB 2.0インターフェイスにおいて確認を行っております。動作確認情報は、各インターフェイス製品メーカーへお問い合わせください。
●CバンドタイプCPRM対応DVDメディアを録画するには、USB 2.0インターフェイスを搭載したパソコンが必要です。
●弊社製USB 2.0インターフェイスをお使いの場合については最新のサポート情報を弊社ホームページ(インフォシーク)にてご確認ください。

※3 USB 1.1ポートに接続した場合には、USB 1.1規格にて動作します。

※4 ●記録・再生時に書き込みまたは読み込みをおこなう場合、DVDでは最大2.5倍速、CDでは最大8倍速の速度が必要です。
●記録・再生時にDVDメディアを高速で連続して十分な転送速度が得られないためコマ落ちまたは音飛びが発生します。（推奨はビデオタイトルによって異なります。）

※5 1度DVDドライブへ1枚目書き込みを行う場合の性能環境は以下の通りです。
●搭載CPU：Pentium® 2.8GHz以上
●ハードディスク：Ultra ATA/66以上で接続されたハードディスク（DMA転送モード）
●OS：Windows XP Service Pack 2以降
●ディスプレット：1955以降

※6 「Blu-ray Disc」をご利用になるには、Service Pack 1以降がインストールされた環境が必要です。

※7 以下の場合、Windows XP/2000 Professionalは完全のみ対応しております。
●「Blu-ray Recorder (DLDS Security)」で録画したDVDの編集を編集する。
●「M-style」（3D立体録画）を使う。
●「M-style」（3D立体録画）を使う。

※8 弊社よりはDVD+メディアのみ対応しております。他社のDVD+メディアの書き込みや読み込みは、あくまでお客さまご自身の責任とさせていただきます。

※9 2層DVD+R/-Rメディアにマルチセッションにて書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションの内容のみとなります。

※10 2層DVD-Rメディアで（Ver.2.1 CLP）にて書き込みを行った場合、他のドライブでは読み込むことはできません。

※11 2.6GバイトDVD-RAMメディアには対応しておりません。

※12 ●推奨メディアは弊社使用した場合は、メディアの品質により正常に書き込みできないことがあります。
●最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。

※13 「Blu-ray Recorder (DLDS Security)」にてコピー防止機能付きDVDを作成する場合には、推奨メディア欄にてご案内しておりますメーカー製のCPRM対応DVD-R/RW for VIDEOメディアをご利用ください。

※14 弊社では記載の倍速メディアにてメディアの倍速を超える高速の書き込みを確認しておりますが、全ての高速メディアでの書き込みや高速書き込み速度の書き込みを保証するものではありません。また、メディアメーカーやメディアの本製品での対応メディアの倍速を超える高速の書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。

製品仕様

ドライブ名	SW-9574(OEM供給元：パナソニック四国エレクトロニクス株式会社)
インターフェイス仕様	USB 2.0(USB 1.1)
設置条件	設置方向：水平、垂直（垂直は12cmメディアのみ対応）
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング
データバッファサイズ	2Mバイト
書き込みエラー回避機能	搭載

最大書き込み/読み込み速度

DVD	1層+R	2層+R	+RW	1層−R	2層−R	−RW	RAM	ROM
書き込み	×16	×4	×8	×16	×4	×6	×5	−
読み込み	×16	×8	×8	×16	×8	×8	×5	×16

C D	−R	−RW	ROM
書き込み	×40	×24	−
読み込み	×40	×24	×40

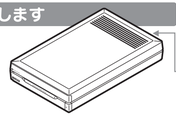
適合フォーマット	●DVD：DVD-ROM, DVD-Video ●C D：CD-ROM Mode1, CD-ROM XA Mode2(form1, form2)、CD-DA, CD-Extra, CD-I, Video CD, CD-TEXT, PhotoCD
平均アクセスタイム	●DVD-ROM：170ms ●DVD-RAM：260ms ●CD-ROM：200ms
書き込み方法	●DVD+R：Sequential write ※DVD-RWのみ ●DVD+RW：Random write ●DVD−R/−RW：Disc at Once、Incremental、Restricted Overwrite※ ●DVD-RAM：Random write ●CD-R/RW：Disc at Once、Session at Once、Track at Once、Packet Writing、Multi Session
電源仕様	AC 100V±10%、50/60Hz
定格電流	5V：1.5A、12V：1.0A
動作温度	+5〜+35℃（パソコンの動作する温度範囲であること）
動作湿度	20%〜80%（結露なきこと）
外形寸法	170(W)×270(D)×50(H)mm（突起部分を除く）
質量	約1.9kg（ACアダプター を除く）

ご注意
●DVD+R/+RW/-R/-RWメディアで作成したDVD-ROM/DVDビデオは、既存のDVD-ROMドライブ、DVDプレーヤー、対応ゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない場合があります。
●上記の条件を満たした場合でも、環境やメディアの特性によっては、本製品の能力性能を発揮できない場合があります。

1.準備しよう

内容物を確認します

□ ドライブ(1台)



□ ACアダプター(1個)



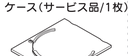
□ USBケーブル(1本)



□ 縦置きスタンド(1個)



□ ワンタッチイジェクトケース（サービス品/1枚）



□ DVR±R/RW/RAMセットアップガイド（本書/1枚）
□ DVD Proツールズコレクション（CD-ROM/1枚）
□ Ulead DVD MovieWriter CPRM対応キーダウンロードのご案内(1枚)
□ ゴム足(8個)［縦置用：4個/横置用：4個］
□ ハードウェア保証書(1枚)※

シリアル番号(S/N)をメモします

↓ここにシリアル番号(S/N)をメモしてください。

シリアル番号(S/N)は本製品背面に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。(例:A0A0000000aa)
シリアル番号(S/N)は以下の際に必要な場合があります。

ソフトウェアのダウンロード

http://www.iodata.jp/lib/

ユーザー登録

http://www.iodata.jp/regist/

抽選でスポーツ用品プレゼント当たり！ぜひ登録を！

使用例



押すとメディアが排出されます。
※メディアは落下しておりません。

ご注意

●DVD-RAMのカートリッジではありませんので、メディアをワンタッチイジェクトケースに入れたまま、ドライブに挿入しないでください。
●ワンタッチイジェクトケースはサービス品につき、サポート・保証はいたしかねます。

※ハードウェア保証書について

「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の箱に印刷されております。
本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

各部の名称

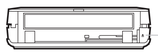
ドライブ前面



パネル
アクセス/Powerランプ
イジェクトボタン
押すとトレイが開きます。

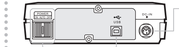
電源ON時：緑色に点灯します。
読み込み時：緑色に点滅します。
書き込み時：オレンジ色に点滅します。

ドライブ前面（トレイ開き）



イジェクトボタン
押すとトレイが開まります。

ドライブ背面



電源コネクター
添付のACアダプターを接続します。
電源スイッチ
ON ⇔ AUTO ⇒ OFF
電源を上のように切り替えます。
※［AUTO］(電源連動機能)については右記「電源連動機能とは？」をご覧ください。
USBコネクター
添付のUSBケーブルを接続します。

注意
●アクセスランプの点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。
●イジェクトボタンを押した際は、すぐ指を離してください。パネルやトレイに指を挟む危険があります。

2.接続しよう

本製品をパソコンに接続します

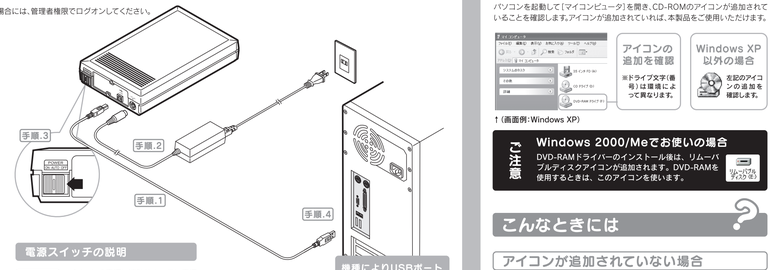
※Windows XP/2000でセットアップを行う場合には、管理者権限でログオンしてください。

手順.1
本製品に添付のUSBケーブルをつなぎます。

手順.2
添付のACアダプターを本製品と電源コンセントにつなぎます。

手順.3
電源を入れます。

手順.4
パソコンのUSBポートにつなぎます。
本製品はOSに標準で搭載されているドライバーを使用するため、ドライバーをインストールする必要はありません。



電源スイッチの説明

ON	パソコンの電源に連動せず、常に電源が入った状態になります。
AUTO	パソコンの電源に連動して本製品の電源がON/OFFされます。（電源連動機能）
OFF	パソコンの電源に連動せず、常に電源が切れた状態になります。

ご注意
本製品をUSB 2.0で動作させるには、USB 2.0インターフェイスに接続する必要があります。

電源連動機能とは？

パソコンの電源のON/OFFに連動して、本製品の電源がON/OFFされる機能です。
ただし、添付のケーブルを使用し、本製品の電源が「AUTO」の状態の時のみ有効です。
この機能により、パソコンの電源を切ると同時に、本製品の電源も切れます。
また、次回パソコンの電源を入れると同時に、本製品の電源も入るので手間が省けます。



縦置きにする場合

手順.1
縦置きスタンドのうらに添付のゴム足を4枚貼り付けます。



手順.2
イジェクトボタンが下になるように、縦置きスタンドを本製品に取り付けます。

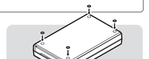


手順.3
イジェクトボタンがよこになるように、縦置きにします。

イジェクトボタン

横置きにする場合

本製品の底に添付のゴム足を4枚貼り付けます。



注意
●本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
●縦置き時、8cmメディアは使用できません。

ご注意
電源連動機能により、本製品の電源スイッチをAUTOにした時点では本製品のPowerランプは点灯しません。起動済みのパソコンに接続するとPowerランプが点灯します。電源連動機能を無効にするには、電源スイッチをONまたはOFFにします。

3.確認しよう

正常に使用できるかを確認します

パソコンを起動して「マイコンピュータ」を開き、CD-ROMのアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。

アイコンの追加を確認
※ドライブ文字（番号）は環境によって異なります。

Windows XP以外の場合
左記のアイコンの追加を確認します。

↑（画面例：Windows XP）

ご注意
Windows 2000/Meでお使いの場合
DVD-RAMドライバーのインストール後は、リムーバブルディスクアイコンが追加されます。DVD-RAMを使用するときは、このアイコンを使います。

こんなときには

アイコンが追加されていない場合

添付のCD-ROMに収録されている Q&A の「(01)本製品をパソコンに接続しても認識しない（本製品のアイコンがマイコンピューターに表示されない）」をご参照ください。

「新しいハードウェア」画面が表示されたまま消えない場合

［キャンセル］ボタンをクリックし、本製品のケーブルをパソコンから取り外します。パソコンを再起動して、取り外したケーブルをパソコンにつなぎます。

その他ご注意

●ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクターを持って抜いてください。

●一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。

●本製品は、パソコンの省電力機能には対応しておりません。

●本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し、数分おいてから書き込みを行ってください。

こんなときには

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された場合

使用しているソフトウェアをすべて終了してから、本手順をおこなってください。
※それでも同じメッセージが表示された場合、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。

4.基本操作を覚えよう

メディアの出し入れ方法を覚えよう

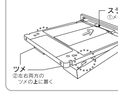
注意
●本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
●縦置き時、8cmメディアは使用できません。

メディアを入れる

①メディアのラベル面（イラスト面）を上にして、メディアでスライダーを軽く押します。
②カートリッジタイプ以外のメディアの場合は、左右両方のツメの下にメディアをひっかけるようにセットします。



カートリッジタイプの場合



メディアを取り出す

メディアでスライダーを軽く押し、ツメにひっかからないように取り出してください。その際、メディアのラベル面の裏側（記録面）に触れないようにしてください。

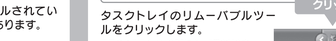


取り外し手順を覚えよう

本製品をパソコン起動中に取り外す場合の手順を説明します。メディアが入っている場合は取り出しておいてください。（画面例：Windows XP）

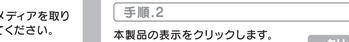
手順.1

タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。
表示されるアイコンはOSによって異なります。



手順.2

本製品の表示をクリックします。
複数のUSB機器を接続している場合は、ドライブ文字（番号）で判別してください。（画面例：E:ドライブの場合）



手順.3

メッセージを確認します。
（Windows 2000、Meの場合は［OK］をクリックします。）



手順.4

パソコンのUSBポートから、本製品のUSBケーブルを取り外し、本製品の電源を切ります。
AUTOの場合、自動的に電源が切れます。左記「電源連動機能とは？」をご参照ください。

てっトリ早く DVDを使ってみよう

■用途に応じて添付ソフトウェアを選択してください。

DVDを再生したい / データを保存したい / DVDビデオをつくりたい / DVD-RAMにデータを書き込みたい

DVD MovieWriter 4 SE with VR for I-O DATA
DVDオーサリングソフト：既存の映像やDVカメラの映像を使って、DVDビデオを作成する際に使用します。DVDプレーヤーソフト「Ulead DVD Player」も同時にインストールされます。

B's Recorder GOLD8 Security
データライティングソフト：波束のデータをCD/DVD作成に加えて、暗号化CD/DVDを作成することもできます。
※B's Recorder GOLD8 Securityのインストールされている場合には、本ソフトをインストールする前にそちらのアンインストールを行ってください。
※DirectX 9.0eインストールされていない場合では、B's Recorder GOLD8 Securityのインストール時にDirectX 9.0eが自動的にインストールされます。

DVD-RAMドライバー
DVD-RAMにデータを読み書きする際にインストールしてください。

B's CLiP
パケットライトソフト：DVD-RW/-RW/+RW/CD-R/RWにドラッグ&ドロップ操作でデータを書き込むことができます。
※B's CLiP for Windows XP/2000 Professionalのみ対応
※本ソフトは、以前のバージョンがインストールされている場合、インストールを行うことはできません。

M-style
携帯静画変換ソフト：パソコン上の映像ファイルを、携帯電話やポータブル機器で再生できる形式に変換するソフトです。（Windows XP/2000 Professional/Me/98SE）
※ 携帯電話やポータブル機器については、対応機種をご確認ください。
※ 一部非対応のデータや、再生に一部不具合が発生することがあります。
※ ストリーミング配信・DVD再生については、本ソフトではサポートしておりません。
http://pro-g.livedoor.com/m-style

EasySaver LE
データバックアップソフト：あらかじめ設定しておくだけで自動的にデータのバックアップを取ることができます。
※ 本ソフトは製品版EasySaverの機能限定版です。

見張っトレイ
トレイコントロールユーティリティ：パソコンサットダウン時にメディアの取り出しおよび取り込みを制御するユーティリティです。

Photoshop Album
画像管理ソフト：デジカメで撮った画像などを整理し、後で簡単に見つけだすことができます。※本ソフトは体験版です。

Disk Refresher for Removable Device
データ完全消去ツール：DVD-RAMメディアのデータを市販のフォーマット機完ソフトなどでは復元できるように完全に消去するソフトウェアです。

AdobeReader
PDF文書ファイル閲覧ソフト：本ソフトに付属しているPDF形式の文書ファイルを読む際に使用します。

オンラインマニュアル
本製品の「基本操作」や「DVDビデオの作り方」、「困ったときには」などについて説明しています。

e-製将V3
データ分散ツール：ファイルを秘密分散法という技術で複数に分割し、それぞれを別々の場所に保存することにより、ファイル盗難の被害を防止するセキュリティソフトウェアです。(Windows XP/2000 Professionalのみ対応)
※お使いになるファイルをDVDに保存する場合には、DVD-RAMをお求めください。

参考 「e-製将V3」無料ダウンロードのご案内
データ分散ツール(e-製将V3)を無料でダウンロードしていただくことができます。
ダウンロードURL：http://www.iodata.jp/ispis
※ダウンロードの際には本製品(DVR-UM18CR)のシリアル番号(S/N)が必要です。シリアル番号(S/N)については本紙表面【1.準備しよう】をご覧ください。

トリあえず 用途に応じて必要なソフトウェアをインストールしよう

ソフトウェアをインストールするには・・・

※Windows XP/2000で収録されているソフトをお使いの場合には、管理者権限でログオンしてください。

1 添付のCD-ROMをDVDドライブに挿入します。
2 メニューが表示されたら[インストール]をクリックします。
3 インストールしたいソフトをクリックします。
4 表示に従ってインストールを進めます。
5 インストールが完了します。（再起動が必要な場合があります。）

こんな時には…
インストールするソフトウェアによっては、シリアル番号入力画面が表示される場合があります。その場合、シリアル番号は自動的に入力されますので、そのまま次の画面に進んでください。

注意 B's Recorder GOLD + B's CLiPを使用する際のご注意

- 管理権限を無効(オフ)にしてください。無効(オフ)にしないで書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。
- マルチセッション・マルチボーダーセッション単位でデータを追記することができます。
- B's Recorder GOLDおよびB's CLiPにて新しく開発されたDVDを作成する場合には、本紙表面【推奨メディア】欄にてご案内しておりますメーカー製のCPRM対応DVD-R/RW for VRモードメディアをご利用ください。
- ハードディスクについたんデータを書き込んでから、メディアへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。
- B's Recorder GOLD8からB's CLiPの「簡単ドラッグ&ドロップ」で、「転送完了エラー」が頻繁に発生してしまう場合には、以下の設定を行うことで、エラーが発生しにくくなります。
  [環境設定] → [ドライブ設定] → [高度なドライブ設定] で、「転送完了エラー回避機能」をONにしてください。（工場出荷時はONになっています。）
  ※ DVDプラスRWドライブには、この設定は表示されません。
- CD/DVDのドライブを読み込みドライブとして使用する場合の注意
  「B's Recorder GOLD8」がCD/DVDのドライブへの書き込み、読み込みドライブ（コピー元）として利用いたすことができます。その場合は本製品を読み込み専用ドライブとしてご利用ください。
  詳細にビーイ・エイ・エー社の商品を用いたメディアに記録する場合には、必ず「B's Recorder GOLD」と本製品を使用ください。
  また、いったん「B's CLiP」に本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合には、必ず「B's CLiP」と本製品を使用してください。

参考 シリアル番号/CD-Key ●B's Recorder GOLD8 Security：　●B's CLiP6：

- B's Recorder GOLD8 Security：
  - 書き込みソフトについては、出荷時状態で「2」に設定されています。
  - 書き込みソフトを変更した場合は、動作の保証を致しかねます。
- CPRM技術で録音されたDVDメディアを再生・編集するには、ピクセラ社のプラグインが必要です。
  ※ インターネット接続環境が必要です。
  なお、プラグイン回路には制限がありますので、プラグインしたプログラムは元に戻す事はできません。予めご了承ください。
  ※ 詳細については、本製品のオンラインマニュアルをご覧ください。
- Windows 2000をお使いの場合には、ドライブのデジタルCD再生を無効にしてください。
- DVD-R/RWメディアに書き込む際、書き込み速度に同一書き換えレイヤ(層)以外の速度を選択すると、書き込みに失敗する場合があります。
- DVD-RAMメディアに書き込む際、書き込み速度に同一書き換えレイヤ(層)以外の速度を選択すると、書き込みに失敗する場合があります。
- CPRM技術で録音されたDVDメディアを再生・編集するには、ピクセラ社のプラグインが必要です。
  ※ インターネット接続環境が必要です。
  なお、プラグイン回路には制限がありますので、プラグインしたプログラムは元に戻す事はできません。予めご了承ください。
  ※ 詳細については、本製品のオンラインマニュアルをご覧ください。
- DVD-RAMメディアに書き込む際、書き込み速度に同一書き換えレイヤ(層)以外の速度を選択すると、書き込みに失敗する場合があります